

**製品名: SP-B ウサギポリクローナル抗体****カタログ番号: APRab18168**

研究使用のみ

**概要**

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ELISA
反応性	ヒト、ラット、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:50-1:300,ELISA 1:2000-1:20000
分子量	42kDa

**抗原情報**

遺伝子名	SFTPB
別名	SFTPB; SFTP3; Pulmonary surfactant-associated protein B; SP-B; 18 kDa pulmonary-surfactant protein; 6 kDa protein; Pulmonary surfactant-associated proteolipid SPL(Phe)
遺伝子 ID	6439.0
SwissProt ID	P07988
免疫原	抗血清はヒト SP-B 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 243-292

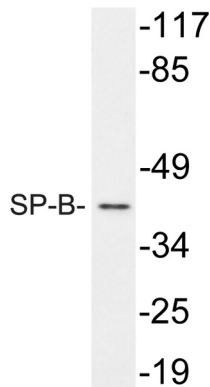
**背景**

この遺伝子は、出生後の肺機能と恒常性維持に必須の両親媒性サーファクタントタンパク質である肺関連サーファクタントタンパク

質 B (SPB) をコードしています。肺サーファクタントは、90% の脂質と 10% のタンパク質 (血漿タンパク質やアポリポタンパク質 SPA、SPB、SPC、SPD など) で構成される表面活性リポタンパク質複合体です。サーファクタントは肺の肺胞細胞から分泌され、肺を覆う体液の表面張力を低下させることで肺組織の安定性を維持します。SPB は、in vitro でサーファクタント単層の拡散速度を高め、安定性を高めます。この遺伝子には複数の変異が特定されており、これらはサーファクタントタンパク質 B 欠乏による肺胞タンパク症とも呼ばれる肺サーファクタント代謝障害 1 型を引き起こし、新生児期の致死的な呼吸窮迫に関連しています。選択的スプライシングトランス疾患: SFTPB の欠陥は、肺サーファクタント代謝障害 1 型 (SMDP1) [MIM:265120] の原因です。この疾患は、サーファクタントタンパク質 B の欠乏による肺胞タンパク症とも呼ばれます。肺サーファクタント代謝の先天性異常は、遺伝的に不均一な疾患であり、満期新生児または乳児に重度の呼吸不全または呼吸不全をもたらします。これらの疾患は、肺胞タンパク症 (PAP)、剥離性間質性肺炎 (DIP)、細胞性非特異性間質性肺炎 (NSIP) など、さまざまな病態と関連しています。機能: 肺サーファクタント関連タンパク質は、末梢気腔内の気液界面の表面張力を低下させることで、肺胞の安定性を促進します。SP-B はパルミチン酸の崩壊圧を約 70 ミリニュートン/メートルまで上昇させる。、その他: 肺サーファクタントは 90% の脂質と 10% のタンパク質からなる。サーファクタント関連タンパク質は 4 種類あり、コラーゲン性糖結合糖タンパク質 2 種類 (SP-A と SP-D) と、低分子疎水性タンパク質 2 種類 (SP-B と SP-C) である。、多型: 131 番目の遺伝子変異は、SFTPA1 の特定のアレルと未熟児呼吸窮迫症候群 (RDS) との関連に影響を与える可能性がある [MIM:267450]。、類似性: サポシン A 型ドメインを 1 つ含む。、類似性: サポシン B 型ドメインを 3 つ含む。、サブユニット: ホモ二量体; ジスルフィド結合。、

## 研究分野

## 画像データ



SP-B 抗体を使用した A549 細胞の溶解物のウェスタン ブロット分析。



SP-B ポリクローナル抗体を 1: 1000 に希釈して様々な細胞をウェスタンブロット分析した。

